平成25年２月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月28日

上 場 会 社 名	株式会社メディカル一光	上場取引所	大
コ ー ド 番 号	3353	URL	http://www.m-ikkou.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)南野 利久	
問合せ先責任者	(役職名)代表取締役副社長	(氏名)西井 文平	(TEL)059-226-1193
四半期報告書提出予定日	平成25年１月11日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年２月期第３四半期の連結業績（平成24年３月１日～平成24年11月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第３四半期	15,331	5.6	835	△5.1	789	△5.2	638	22.9
24年２月期第３四半期	14,513	8.4	880	18.9	832	19.4	519	32.9

（注）　包括利益　　25年２月期第３四半期　　647百万円(27.3%)　　24年２月期第３四半期　　508百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年２月期第３四半期	333 25	―
24年２月期第３四半期	271 56	―

（注）　当社は、平成24年６月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年２月期第３四半期	15,714	4,820	30.7
24年２月期	14,810	4,269	28.8

（参考）　自己資本　　25年２月期第３四半期　4,820百万円　　24年２月期　4,269百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年２月期	―	0 00	―	5,000 00	5,000 00
25年２月期	―	0 00	―		
25年２月期(予想)				50 00	50 00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
当社は、平成24年６月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行いました。平成24年２月期の配当金につきましては、当該株式分割前の数値で記載しております。

３．平成25年２月期の連結業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,270	3.5	940	△22.6	860	△25.3	640	2.6	334 01

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
当社は、平成24年６月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割が期首に行われたと仮定して、１株当たり当期純利益を算定しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年２月期３Ｑ	2,035,000株	24年２月期	2,035,000株
②　期末自己株式数	25年２月期３Ｑ	118,900株	24年２月期	118,900株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年２月期３Ｑ	1,916,100株	24年２月期３Ｑ	1,913,017株

（注）　当社は、平成24年６月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割の影響を考慮し、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連事業等の経済政策により緩やかな回復基調にありましたが、欧州債務問題や世界経済の減速により海外需要が低迷し、国内の企業活動や雇用環境も停滞傾向にあり、景況感は総じて厳しい状況で推移しました。

調剤薬局業界及び介護業界におきましては、４月に調剤報酬改定・薬価改定と介護報酬改定が同時に行われ、薬価の引下げと新たなジェネリック医薬品の使用促進策が採られました。

このような環境下で当社グループは、調剤薬局事業及びヘルスケア事業において新規開設や営業権の取得を行うとともに、投資子会社を設立してグループ子会社は10社となりました。

当第３四半期連結累計期間の業績につきましては、主力とする調剤薬局事業で調剤報酬改定の影響が有りましたが、ヘルスケア事業及び医薬品卸事業の業績が伸長し、売上高は15,331百万円(前期比5.6%増)となりました。一方、営業利益は835百万円(同5.1%減)、経常利益は789百万円(同5.2%減)となりました。四半期純利益につきましては、有価証券売却益を計上し638百万円(同22.9%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、調剤報酬改定により薬価が引き下げられ、また施策に沿ってジェネリック医薬品の使用を促進することにより薬剤料売上への影響が予想されましたが、処方日数が長期化されたこと等により処方箋単価が上昇し、既存店の売上高は昨年度対比で微増となりました。

当社グループの店舗数は、上期に新規開局した２店舗と子会社が行った営業譲受により取得した２店舗を加え82店舗となり、グループの調剤売上高は13,807百万円(前期比3.8%増)、営業利益は1,024百万円(同7.0%減)となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、介護付有料老人ホーム等６施設の入居者数が増加したことと事業を譲り受けた訪問介護事業会社の業績が寄与したことにより、売上高は857百万円(前期比31.8%増)、営業利益は87百万円(同92.0%増)となりました。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、厚生労働省の進めるジェネリック医薬品使用促進策に沿って積極的な営業を展開したことにより、売上高は610百万円(前期比20.3%増)、営業利益は59百万円(同103.7%増)となりました。（内部売上を含む売上高は896百万円となり、前年同期比で23.3%増加しました。）

(不動産事業)

不動産事業におきましては、不動産の賃貸業により安定した収益が確保できており、売上高は56百万円(前期比1.4%減)、営業利益は30百万円(同5.0%増)となりました。

なお、セグメント間の内部売上高として288百万円を消去するとともに、全社における共通経費として366百万円を計上しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は15,714百万円となり、前連結会計年度末と比較して904百万円増加いたしました。

流動資産の合計は7,542百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,192百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1,762百万円によるものです。

固定資産の合計は8,171百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,287百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の減少2,059百万円によるものです。

負債合計は10,893百万円となり、前連結会計年度末と比較して353百万円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加253百万円、長期借入金(１年内返済予定を含む)の増加434百万円、短期借入金の減少600百万円によるものです。

純資産合計は4,820百万円となり、前連結会計年度末と比較して551百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益638百万円によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年２月期の業績予想につきましては、平成24年４月５日公表の数値から変更はありません。
なお、今後の経営環境等の変化により見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号 平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日公表分）及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号　平成22年６月30日）を適用しております。

当社は、平成24年６月１日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第３四半期連結累計期間の１株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額は以下のとおりであります。

１株当たり四半期純利益金額	27,156円52銭
潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額	―

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,185,811	3,948,595
売掛金	2,184,945	2,387,437
商品	798,055	912,622
その他	183,226	295,608
貸倒引当金	△1,300	△1,400
流動資産合計	5,350,738	7,542,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,920,673	3,134,297
土地	1,636,848	1,718,860
その他（純額）	203,309	607,882
有形固定資産合計	4,760,832	5,461,040
無形固定資産		
のれん	952,123	987,494
その他	160,349	177,940
無形固定資産合計	1,112,472	1,165,434
投資その他の資産		
投資有価証券	2,498,239	438,711
敷金及び保証金	457,275	468,993
その他	630,467	637,536
投資その他の資産合計	3,585,982	1,545,241
固定資産合計	9,459,287	8,171,717
資産合計	14,810,026	15,714,581
負債の部		
流動負債		
支払手形	6,442	7,534
買掛金	2,674,812	2,927,855
短期借入金	600,000	－
1年内返済予定の長期借入金	2,036,066	2,068,680
未払法人税等	349,226	328,886
賞与引当金	110,759	2,355
その他	348,324	725,920
流動負債合計	6,125,631	6,061,234
固定負債		
長期借入金	3,904,614	4,306,100
退職給付引当金	310,831	329,570
その他	199,496	196,953
固定負債合計	4,414,942	4,832,624
負債合計	10,540,573	10,893,858

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	2,706,343	3,249,086
自己株式	△199,265	△199,265
株主資本合計	4,261,128	4,803,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,324	16,851
その他の包括利益累計額合計	8,324	16,851
純資産合計	4,269,452	4,820,723
負債純資産合計	14,810,026	15,714,581

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年11月30日）
売上高	14,513,048	15,331,637
売上原価	12,848,900	13,629,585
売上総利益	1,664,148	1,702,052
販売費及び一般管理費	783,784	866,534
営業利益	880,363	835,517
営業外収益		
受取利息	633	568
受取配当金	7,149	10,208
助成金収入	11,763	3,182
その他	7,758	7,656
営業外収益合計	27,304	21,615
営業外費用		
支払利息	58,483	57,761
その他	16,931	10,269
営業外費用合計	75,414	68,031
経常利益	832,253	789,102
特別利益		
固定資産売却益	23,436	1,595
投資有価証券売却益	120,112	521,162
貸倒引当金戻入額	100	－
その他	－	9,231
特別利益合計	143,649	531,989
特別損失		
固定資産除却損	2,574	23,893
減損損失	－	33,591
賃貸借契約解約損	－	431
店舗閉鎖損失引当金繰入額	－	61,080
投資有価証券売却利益返還額	－	47,061
保険解約損	1,815	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,301	－
その他	20	－
特別損失合計	17,711	166,058
税金等調整前四半期純利益	958,191	1,155,032
法人税、住民税及び事業税	509,806	611,800
法人税等調整額	△71,124	△95,315
法人税等合計	438,682	516,484
少数株主損益調整前四半期純利益	519,508	638,548
四半期純利益	519,508	638,548

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年11月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	519,508	638,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,126	8,527
その他の包括利益合計	△11,126	8,527
四半期包括利益	508,382	647,075
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	508,382	647,075

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年３月１日　至　平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,298,490	650,534	507,147	56,876	14,513,048	―	14,513,048
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,643	274	219,923	―	222,841	△222,841	―
計	13,301,133	650,809	727,070	56,876	14,735,889	△222,841	14,513,048
セグメント利益	1,101,678	45,449	29,386	28,639	1,205,153	△324,789	880,363

（注）１　セグメント利益の調整額△324,789千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用329,372千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年３月１日　至　平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,807,983	857,318	610,258	56,076	15,331,637	―	15,331,637
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,435	274	286,478	―	288,188	△288,188	―
計	13,809,419	857,592	896,737	56,076	15,619,825	△288,188	15,331,637
セグメント利益	1,024,395	87,255	59,846	30,068	1,201,565	△366,048	835,517

（注）１　セグメント利益の調整額△366,048千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用370,172千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。